【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【公開番号】特開2001-305825(P2001-305825A)
【公開日】平成13年11月2日(2001.11.2)
【出願番号】特願2000-126474(P2000-126474)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０３Ｇ　15/01
　Ｇ０３Ｇ　15/00
　Ｈ０４Ｎ　 1/29
【ＦＩ】
　Ｇ０３Ｇ　15/01　　Ｙ
　Ｇ０３Ｇ　15/00　３０３
　Ｈ０４Ｎ　 1/29　　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成16年4月21日(2004.4.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光源の光量を変更可能な光源手段と、感光体上を前記光源で走査して潜像を形成する潜像形成手段と、前記感光体上に形成された潜像を現像剤により顕像化する現像手段を少なくとも２組以上有し、転写材を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される前記転写材に現像された画像を転写する転写手段と、前記画像を転写した転写材を定着して、画像出力する画像形成装置において、
少なくとも２種類以上の転写材の搬送速度に応じて、前記潜像形成手段及び前記現像手段の画像形成速度を切り替える切替手段と、
前記切替手段で切り替える前記画像形成速度に応じて、前記潜像形成手段で前記感光体上に形成する潜像の元となる画像データに対する画像処理を変更する画像処理変更手段とを有することを特徴とする画像形成装置。
【請求項２】
前記切替手段は、前記転写材の種別に応じて予め定められた前記搬送速度に基づいて前記画像形成速度を切り替えることを特徴とする請求項１記載の画像形成装置。
【請求項３】
前記画像処理変更手段は、ガンマ補正処理の入出力ガンマ特性を変更することを特徴とする請求項１記載の画像形成装置。
【請求項４】
光源の光量を変更可能な光源手段と、感光体上を前記光源で走査して潜像を形成する潜像形成手段と、前記感光体上に形成された潜像を現像剤により顕像化する現像手段を少なくとも２組以上有し、転写材を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される前記転写材に現像された画像を転写する転写手段と、前記画像を転写した転写材を定着して、画像出力する画像形成装置において、
少なくとも２種類以上の転写材の搬送速度に応じて、前記潜像形成手段及び前記現像手段の画像形成速度を切り替える切替手段と、
前記切替手段で切り替える前記画像形成速度に応じて、前記光源手段の発光パターンを変

更する発光パターン変更手段とを有することを特徴とする画像形成装置。
【請求項５】
転写材に転写する現像画像を生成するための感光体及び出力画像データに基づいて感光体上に潜像を形成する露光部を有し、転写材の搬送速度に応じて、転写材に転写する現像画像の生成速度を変化させる画像形成装置において、
前記生成速度が変化しても、前記感光体上に露光される単位面積あたりの露光量がほぼ一定となるように、出力画像データの濃度値又は露光パターンを変更する変更手段を有することを特徴とする画像形成装置。
【請求項６】
光源の光量を変更可能な光源手段と、感光体上を前記光源で走査して潜像を形成する潜像形成手段と、前記感光体上に形成された潜像を現像剤により顕像化する現像手段を少なくとも２組以上有し、転写材を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される前記転写材に現像された画像を転写する転写手段と、前記画像を転写した転写材を定着して、画像出力する画像形成装置の制御方法であって、
少なくとも２種類以上の転写材の搬送速度に応じて、前記潜像形成手段及び前記現像手段の画像形成速度を切り替える切替工程と、
前記切替工程で切り替える前記画像形成速度に応じて、前記潜像形成手段で前記感光体上に形成する潜像の元となる画像データに対する画像処理を変更する画像処理変更工程とを有することを特徴とする画像形成装置の制御方法。
【請求項７】
前記切替工程は、前記転写材の種別に応じて予め定められた前記搬送速度に基づいて前記画像形成速度を切り替えることを特徴とする請求項６記載の画像形成装置の制御方法。
【請求項８】
前記画像処理変更工程は、ガンマ補正処理の入出力ガンマ特性を変更することを特徴とする請求項６記載の画像形成装置の制御方法。
【請求項９】
光源の光量を変更可能な光源手段と、感光体上を前記光源で走査して潜像を形成する潜像形成手段と、前記感光体上に形成された潜像を現像剤により顕像化する現像手段を少なくとも２組以上有し、転写材を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される前記転写材に現像された画像を転写する転写手段と、前記画像を転写した転写材を定着して、画像出力する画像形成装置の制御方法であって、
少なくとも２種類以上の転写材の搬送速度に応じて、前記潜像形成手段及び前記現像手段の画像形成速度を切り替える切替工程と、
前記切替工程で切り替える前記画像形成速度に応じて、前記光源手段の発光パターンを変更する発光パターン変更工程とを有することを特徴とする画像形成装置の制御方法。
【請求項１０】
転写材に転写する現像画像を生成するための感光体及び出力画像データに基づいて感光体上に潜像を形成する露光部を有し、転写材の搬送速度に応じて、転写材に転写する現像画像の生成速度を変化させるように画像形成装置を制御する制御方法であって、
前記生成速度が変化しても、前記感光体上に露光される単位面積あたりの露光量がほぼ一定となるように、出力画像データの濃度値又は露光パターンを変更するように制御することを特徴とする画像形成装置の制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
上記目的を達成するために、本発明は、光源の光量を変更可能な光源手段と、感光体上を

前記光源で走査して潜像を形成する潜像形成手段と、前記感光体上に形成された潜像を現像剤により顕像化する現像手段を少なくとも２組以上有し、転写材を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される前記転写材に現像された画像を転写する転写手段と、前記画像を転写した転写材を定着して、画像出力する画像形成装置において、少なくとも２種類以上の転写材の搬送速度に応じて、前記潜像形成手段及び前記現像手段の画像形成速度を切り替える切替手段と、前記切替手段で切り替える前記画像形成速度に応じて、前記潜像形成手段で前記感光体上に形成する潜像の元となる画像データに対する画像処理を変更する画像処理変更手段とを有することを特徴とする。

また、本発明は、光源の光量を変更可能な光源手段と、感光体上を前記光源で走査して潜像を形成する潜像形成手段と、前記感光体上に形成された潜像を現像剤により顕像化する現像手段を少なくとも２組以上有し、転写材を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される前記転写材に現像された画像を転写する転写手段と、前記画像を転写した転写材を定着して、画像出力する画像形成装置において、少なくとも２種類以上の転写材の搬送速度に応じて、前記潜像形成手段及び前記現像手段の画像形成速度を切り替える切替手段と、前記切替手段で切り替える前記画像形成速度に応じて、前記光源手段の発光パターンを変更する発光パターン変更手段とを有することを特徴とする。

更に、本発明は、転写材に転写する現像画像を生成するための感光体及び出力画像データに基づいて感光体上に潜像を形成する露光部を有し、転写材の搬送速度に応じて、転写材に転写する現像画像の生成速度を変化させる画像形成装置において、前記生成速度が変化しても、前記感光体上に露光される単位面積あたりの露光量がほぼ一定となるように、出力画像データの濃度値又は露光パターンを変更する変更手段を有することを特徴とする。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７６】
【発明の効果】
以上説明したように、本発明によれば、光源の光量を変更可能な光源手段と、感光体上を前記光源で走査して潜像を形成する潜像形成手段と、前記感光体上に形成された潜像を現像剤により顕像化する現像手段を少なくとも２組以上有し、転写材を搬送する搬送手段と、前記搬送手段により搬送される前記転写材に現像された画像を転写する転写手段と、前記画像を転写した転写材を定着して、画像出力する画像形成装置において、少なくとも２種類以上の転写材の搬送速度に応じて、前記潜像形成手段及び前記現像手段の画像形成速度を切り替える切替手段と、前記切替手段で切り替える前記画像形成速度に応じて、前記潜像形成手段で前記感光体上に形成する潜像の元となる画像データに対する画像処理を変更する画像処理変更手段とを有することにより、画像形成速度を切り替えた場合でも、低濃度から高濃度まで最適な階調画像を出力することが可能となる。